



津波で多くの犠牲者を出した岩手県山田町中心部と山田湾

岩手・山田湾

死者・不明900人超

「津波に強い」過信あつた

津波に強いと言われた山田湾に面した岩手県山田町で、津波による死者・行方不明者が900人を超えた。目撃者の証言によると、最初に見えた津波が低かったことに安心した住民が自宅に戻り、その後の大津波にのみ込まれたという。波静かな山田湾という住民の固定観念が、被害拡大につながった恐れがある。

「山田は今回の津波でも大丈夫だ」。3月11日午後3時すぎ、町中心部の住民が避難した高台でこんな声が上がった。

住民によると、高台から見えた最初の津波は、じわじわと堤防からあふれるような様子だった。勢いは弱

は広い湾内で威力が減殺され、普段は白波立たず、もなく大きなうねりが襲台風の時は船の避難場所となる。



は広い湾内で威力が減殺され、普段は白波立たず、もなく大きなうねりが襲台風の時は船の避難場所となる。

飯岡さんは「一瞬にして海面が盛り上がり、防潮堤を越えた。町に戻った大勢の人々が次々とのみ込まれた」と振り返る。

町役場近くの高台に避難していた佐藤義英さん(76)は「多くの人が防潮堤を越えなかつた津波を見て安心した。大勢の人々が持ち物を取るために高台を下って家や職場に戻つた」と証言する。

南北の半島が円状に海を取り囲む山田湾は湾口が500mと狭い上に、湾内の幅は最大約4kmに及ぶ。波高が二つの島の間の海底5m

第1波小さく住民戻り、犠牲

年)は岩手県沿岸部で2500人以上の死者・行方不明者を出したが、当時の山田村の死者・行方不明者は1人だった。その後の津波入。海岸沿いを北上して町中心部に入り、水かさが高まつたという。

田湾にはその後、南隣の船越半島の付け根を越えて流れる津波が、幅500mの船越半島の付け根を越えて流れ、最初に見た津波が防潮堤を越えていた。誰も町に戻らず、被害者はかなり少くなつたはずだ」と嘆く。複数の住民によると、山田湾にはその後、南隣の船

(中村洋介、浅井哲朗)